





蜂窩織炎の治療を受けられる患者様へ

患者氏名 _____ 様

- ・入院期間は変更になることもあります
- ・詳細につきましては、入院された後、看護師より説明させていただきます

経過	入院1日目	入院2～3日目	入院4～6日目	入院7日目～退院日
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時、痛み止めを内服し痛みがコントロールされる ・患部を枕で挙げ、安静指示を守ることができる ・感染(赤み、熱、腫れ)の悪化がない 			<ul style="list-style-type: none"> ・退院指導、傷の処置方法が理解できる
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・採血 	<ul style="list-style-type: none"> ・採血(入院3日目) 朝食前にベッドサイドへ伺います 		
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・枕を貸し出しますので、患部を枕で挙げ安静にしてください。 ・3回/日抗生剤の点滴をします。 炎症が治まるまで点滴は続きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時弾性包帯を患部に巻くことがあります。 		
説明・観察	<ul style="list-style-type: none"> ・患者誤認予防のため、リストバンド装着をします。 ・看護師がこれまでの経過や入院時の症状について伺います。現在内服している薬は全て看護師に預けてください。内服薬は、必要に応じて看護師で管理させていただきます。 ・入院の流れと、入院生活に必要な物品等、看護師から説明があります。 ・不明な点があれば、遠慮なく聞いてください。 ・痛みが強い場合は我慢せずに看護師にお伝えください。 			<p>《退院時》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回外来受診についてご説明します。退院日に、書類とお薬をお渡しするのでお持ち帰りください。 ・入院費用及び必要な診断書についてのお問い合わせは病棟クラークまでお願いします。 ・退院後も傷の処置が必要な場合、処置方法を説明します。弾性包帯を巻いている場合、継続して巻く必要があるか、医師に確認します。必要な場合は、巻き方の説明を行います。 
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー可能ですが、状態により行えない時は、温タオルで体拭きをします  			
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上安静、患部挙上が必要です 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・特に制限はありません <p>病歴(糖尿病、心臓病、透析など)で、元々食事の制限がある方は、元々指示されている食事制限が必要です</p>			